



プログラム名		見て 触って 探して あそぼう！！							
対象年齢		年 長 （ 5 ～ 6 歳 ）							
ねらい	メッセージ	自然物のつながりに気づき、全てのものが必要であることを知ろう							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木、葉、苔の違い</li> <li>・木、葉、苔の感触、色、形など</li> </ul>							
参加者のめやす		幼児 25人 / 支援者 4人							
実施時間		40分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動				配慮・アドバイス アレンジ				
5分	導入 ・グループごとに集まる ・周りを見る ・説明を聞く				周りを見渡して、「何が見えるかな？」と問いかけます。 木、葉、石、苔などたくさんの自然物があるが同じ形のものがないことに気づくようにします。				
15分	1．木の写真を見る 2．写真の特徴を話し合う 3．写真の場所を探しに行く 4．見つけたものを触る  ザラザラやな ー				特徴が出やすいように、支援者も一緒に考えます。 触った感じを言葉にした子どもたちの思いを受け止め共感しましょう。 拾ってきたものを入れる袋、または置く場所を決めます。 木、葉、苔を見ながら、それぞれがつながっていることや必要であることを伝えます。				
	5．1人一つ、木の枝を拾う ・葉、苔についても上記1～5の活動をする。				 モコモコして いる 苔				

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
15分	<p>拾った木、葉、苔で表現あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で好きな形を作る</li> </ul>  <p>森で見つけたカニだよ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで好きなものを作る</li> </ul>	<p>「こんなものできるよ」と支援者の作ったものを見せ、子どもたちのイメージがふくらむようにします。</p> <p>各グループで話し合いながら、楽しく作れるようにしましょう。</p>  <p>キャラクターを作っています</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの作品を見て回る</li> </ul> <p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使った自然物は元あったところに還す</li> </ul>	<p>木と葉と苔の違いや関係について話しましょう。</p>
<p><b>【異年齢への対応】</b></p> <p>2歳児：自然の中を支援者と一緒に探検してみましょう。</p> <p>年少：支援者と一緒に探検しながら、種類別に自然物を探しましょう。</p> <p>年中：拾い集めた自然物で、好きなものを作ってみましょう。</p>		
<p><b>【園や家庭に帰ってから】</b></p> <p>園にある自然物で制作し、展示しましょう。</p> <p>似顔絵を描いて、違いに気づき、認め合いましょう。</p> <p>家の人と草花を拾いにいき、制作あそびをしましょう。その際、生えている草花は採らないことと使った草花はもとに還すように伝えます。</p>		
<p>準備物・ 教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真（木・葉・苔）</li> <li>・白い布（約1m×1m）：グループ数</li> <li>・拾ったものを入れる袋：人数分</li> </ul>	

